

## 蚊成虫・幼虫調査用機具

商品名	使用用途	型式	動力	重量	対象	使用方法
<p>CDCミニチュアライトトラップ</p>  <p>生きたまま捕集できる 電池式なので設置場所を選びやすい</p>	CO2トラップ法	ファン式吸引捕集	単一電池4本	0.7kg	蚊成虫	<p>新聞紙に包んだドライアイスを保冷容器に入れ、トラップの上あるいは脇につらし、翌日捕獲された成虫を回収する。 地上1.6～1.8mの位置になるように、樹陰に吊るす。 木に吊るすことができない場合は、三脚などを利用する。 月明かり、街灯や庭園灯の光の影響をうけないようにする。 建築物から1m以上遠ざける。 捕獲された蚊を逃がさないようにするために、電池の残り消費量に注意する。また、回収が終わってから電源を切る。</p>
<p>捕虫網</p>  <p>折りたたんで小さく収納できる 網だけを交換することもできる</p>	人囮法	<p>網:ナイロン紗 白 金具:シガ型ポケット金具ハネ付 直径36～42cm</p>	人力	130g	蚊成虫	<p>蚊の潜んでいそうな場所に8分間立ち、蚊が飛来してきたところで、優しく網を振って捕獲する。 膝から下に飛来しやすい。 振った後は、捕獲した蚊が逃げないように口を閉じておく。</p>
<p>蚊幼虫捕集セット</p>  <p>セットがあれば捕集と観察に便利</p>	すくい取り法	<p>ひしゃく フルイスポイト せんびん 白トレー 等</p>	人力	—	蚊幼虫 (ボウフラ)	<p>表層すくいとり法:ひしゃくを約45度の角度でゆっくり沈めながら、水面を漂う幼虫や蛹をすくいとる。 完全水没法:ひしゃくを幼虫脳から迅速に下方に沈め、中に入った幼虫や蛹とともに迅速に引き上げる。 ひしゃくが使えない小さな水たまりは、スポイトを用いて吸い取る。 4～5杯すくいとり、ふるいを通して幼虫を選別する。 幼虫は白トレーで観察するか、保存容器で持ち帰る。</p>